

昨年に引き続き、今回の国際大会もミネアポリスでの現地参加とヴァーチャル参加のハイブリッド形式で行われました。なお、総会部分は登録しなくても見られるように配慮されていました。

登録者数は以下の通り。

	現地	ヴァーチャル	合計
全世界	1,621	364	1,985
内、日本	13	9	22

6月21日（水）

- 2021-2022 優秀地区表彰夕食会  
日本地区は 2021-2022 優秀地区の一つとなり、表彰されました。残念ながら 2021-2022 年度の林ガバナー、吉村事務総長は欠席でしたが、コメントをいただきました。  
林：「4月に国際キワニス会長より、日本地区が優秀賞に決定したと連絡頂き、驚くと同時にコロナ禍にありながら、日本地区の皆様の努力により、目標を達成することができた事を心より感謝致します。」  
吉村：「日本地区会員二千人の活動が高く評価され、誠に嬉しく思います。」



▲中央の女性が右手に持っているのが日本地区の表彰状

6月22日（木）

- 日本地区夕食会

6月23日（金）

- ASPAC 役員会  
日本地区からは、宮崎次期ガバナー、藤原 KI 理事、吉田 KCF 理事、野間 ASPAC SLP 副委員長が現地参加、小田 ASPAC ガバナンス委員長がヴァーチャル参加しました。



● ASPAC・KIE 合同夕食会



アジア太平洋地域とヨーロッパのキワニアンが一同に会し、親睦夕食会を行いました。



日本地区代議員席

6月24日(土)

● 代議員総会

1. 選挙：当選者は次の通り。

国際会長	Katrina J. Baranko	ジョージア地区
次期国際会長	Lee Kuan Yong	マレーシア地区
国際副会長	Michael Mulhaul	ニュージャージー地区
米国・太平洋カナダ地域 指定国際理事（3名）	Dennis Baugh	キャピタル地区
	Matthew Cantrall	フロリダ地区
	Cathleen Ann "Cathy" Tutty	モンタナ地区
広域枠国際理事	Mohan Lamsal	ネパール地区

2. 規約改正案

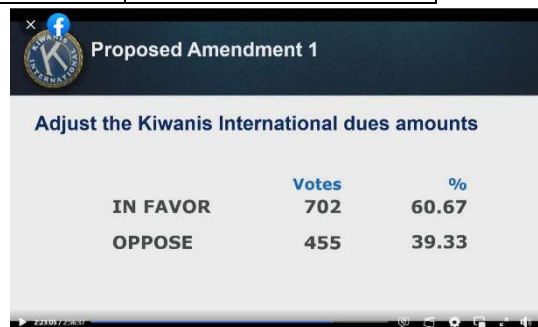
(1) 国際キワニス規約近代化改定案は97%以上の得票で可決されました。

(2) 国際会費値上げ案

主に会員減少による収入減により運営が厳しくなったとして国際会費の値上げが提案されました。例えば日本地区の属する階層で

は年会費を52ドルから82ドルに上げるというもの。当日は時間いっぱい討議が行われた後、採決の結果、必要な2/3の得票にわずかに届かず、否決となりました。

※ 今年度で任期を終える藤原国際理事が壇上で紹介されました。



- 日本地区とインディアナ地区の姉妹地区提携



コロナにより延期となっていた日本地区とインディアナ地区の姉妹提携が調印されました。

吉國 2022-2023 ガバナーからのコメント：

「日本地区が昨年の優秀地区に選ばれ、退任する藤原国際理事がねぎらわれるなど日本地区の存在感が目立った大会でした。私にとっては、インディアナ地区との姉妹地区提携の調印式で、インディアナの代表が尾形前ガバナーだったことが、2016年のトロント大会で私が東京クラブの会長、尾形さんがラフィエットクラブの会長として、姉妹クラブ提携の調印を行ったことと合わせて、大変感慨深い思い出となりました。」

